

迎春 2022



「早春の香り」 場所：ふれあいの森（見本園） 撮影者：奥野 三郎さん（公募写真から選定）

年頭の御挨拶



議長
吉澤 弘



副議長
古谷田 力

皆様には、新たな期待と希望を持って、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症が私たちの暮らしや社会活動に、大きく影響を及ぼす1年となりました。マスクの着用や密の回避など、感染予防行動の意識が高まり、ワクチン接種も着実に進んでおりますが、予断を許さない状況がいまだ続いています。一昨年来、長期間にわたり最前線で御尽力いただいているエッセンシャルワーカーの皆様をはじめ、感染防止対策を続けていただいている事業者や市民の皆様に、改めて感謝の意を表しますとともに、引き続き感染拡大防止のための御協力をお願い申し上げます。

こうした中、昨夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。これまで経験のない困難な状況下、選手

たちの活躍が一層明るいニュースとなつて、列島を駆け巡りました。

新型コロナウイルスの第6波到来を予想する専門家もおりますが、今後新たな局面を迎えるても、これまで得た経験や知識を生かし、克服することができるものと確信しています。

また、厚木基地の問題については、空母艦載機部隊の移駐から4年が経過しようとしていますが、今後の基地の運用を含め、引き続き注視してまいります。

今後も二元代表制の一翼を担う市議会として、市民の皆様の声を聴き、負託に応える議会となるよう努めてまいります。

どうか本年も、本市議会への御支援と御協力をお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝と御多幸を祈念しまして、新年の御挨拶いたします。

令和4年1月

'22年各会派の抱負

自由民主党

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和2年3月から、9人が所属する本市議会の最大会派、「自由民主党」として活動してまいりましたが、平田すみはる元議長がご逝去されたことにより、今年は8人の最大会派としてスタートいたします。

昨年は世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄されながらも、原稿を書いているこの時点では日本がG7の中でも力ナダを抜き、世界一の接種率となり、日本全国の感染者数も激減しております。

まだまだ収束は見込めませんが、今やらなければならぬのは、感染症対策を維持しつつも、疲弊した経済のアクセルを踏み込んでいく事です。我が会派から提出した、令和4年度の予算要望にも、「コロナ対策と社会経済の両立～アフターコロナも見据えつつ～」と銘打って、新たな流行が来る可能性に備え感染拡大防止に注力しつつも、収束後を見据えて社会経済活動の活性化に取り込むように求めました。

具体的にはワクチン接種の迅速化、コロナ病床の確保をはじめとする医療体制の整備のほか、市内事業者への事業継続支援を中心としたきめ細かいフォローを

感染症対策を維持し 経済のアクセルを

要請しました。

昨年の大和市においては、大和駅西側の旧青少年センター跡に新たにオープンした「こどもの城」や中央林間地区街づくりビジョンに基づく、中央林間駅東口改札のオープン等、さらに魅力ある大和市を実現しております。

今年も二元代表制の一翼を担う大和市議会最大会派として、広く市民の皆様と意見交換し、神奈川県議会や国会と連携しながら行政側に働きかけ、市政を動かしてまいります。

本年も変わらぬご指導をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



古木 邦明



福本 隆史



小田 博士



井上 貢



青木 正始



中村 一夫



小倉 隆夫



木村 賢一

公明党

明けましておめでとうございます。

皆様の日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。コロナ禍で様々なイベントが中止となるなか行われたオリンピック・パラリンピックでのアスリート達や米大リーグで活躍する大谷選手の果敢に戦う姿は、私たちに勇気と希望を届けてくれました。私たち公明党市議団は、市民の皆様のご期待に応えられるよう、目の前の課題に挑戦し続ける決意を新たにし、本年をスタートしました。

昨年は、新型コロナウイルス感染が広がる中、全ての市民が安心してワクチン

を接種できるよう案内書にユニボイスを貼付するなど障害特性に配慮した対応や妊婦・受験生へのワクチン優先接種、自宅療養者に医療・食事の支援体制、小中学校の女子トイレに生理用品の設置、小中学校に消毒作業等を手伝うスクールサポートスタッフの的確な配置など市民の不安解消のための施策を推進しました。また、デジタル戦略課の設置やキャッシュレス納税、GIGAスクール等の推進、共生社会を推進する性の多様性理解やパートナーシップ制度の導入、認知症施策の総合的な推進を図る「認知症1万人時代

市民の声を聴き

幸福のための施策推進

条例」の制定を推進。更には長年の課題であった小田急線中央林間駅北東側に新たな改札口も設置されました。

本年は、いまだ終息していない新型コロナへの対応、経済の早期回復へ中小企業の支援、命を守る防災・減災施策の推進、安心して子供を産み育て十分な教育が受けられる社会の構築、多様性を認め支え合う共生社会の構築、情報格差の解消支援とデジタル化・脱炭素化の促進など市民の幸福に資する施策推進に、全力で取り組んでまいります。

私たち公明党市議団は、市民の皆様の



河端恵美子



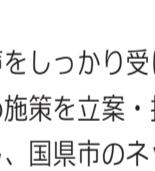
金原 忠博



鳥羽 優



山田己智恵



声をしっかりと受け止め施策を立案・推進し、国県市のネットワーク力を生かしながら、誠心誠意働いてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

大和正風会

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には日頃より、格別のご支援ご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナ対策の推進と市政への提言や疑惑追及が主な活動でした。

今年は、新型コロナ対策として、更なるワクチンの接種や困っている市民・企業への支援、また市政への不安を解消し、市民の皆様の安全安心な暮らしを守るために、所属議員の政策を推進いたします。

議会は行政の追認・追従機関になり下がってはなりません。大きな問題は、市

役所組織の改革・正常化です。令和3年5月、当時の副市長の辞職に関する報道が衝撃を与えました。辞職理由が市長による職員へのパワハラへの抗議をしたものであったことに鑑み、議会ではこれを問題視し調査特別委員会を立ち上げ、職員へのアンケート調査を実施するなど、真相究明を進めております。

多選批判で市長の座を得た現市長ですが、4期の長期政権で強権的な市政運営に対する弊害が危惧されています。特に議会を軽視し、市長が専決処分で強行突破することに何もできない議会側の責任

是々非々の姿勢で

正しい風を正風会から

も強く反省しなければなりません。

本来、市長と議会とは対等な関係で、市長・行政側が予算案や条例案を提案しても、議会の議決が得られなければ施策として実行できません。互いに緊張感を持ちながら議会は、本来の役割である行政のチェック機能を生かし、多様な意見を持ち、様々な視点から行政に意見し、行政の施策をより高めていくことが求められます。

大和正風会は、前副市長の辞職に関する問題の真相究明と同時に本来的な議員の役割に立ち返り、市民の皆様の思いや



山本 光宏



佐藤 正紀



安藤 博夫



赤嶺 太一

考えを反映すべく行動する決意であります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念させていただくとともに、本年もご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



神奈川ネットワーク運動

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大は、私たち市民の生活に大きな影響をもたらし続け、日本の格差社会を浮き彫りにしています。特に女性や子どもたちは大きな困難を抱えており、政治的な対策は急務です。一方、フードバンクや子ども食堂など、何かしたいという市民の活動が活発になり、目に見える形となってきたことには希望を感じます。

神奈川ネットワーク運動は、「それって政治だよ」という標語の下、これまで

一貫して生活と政治が強く結びついていくこと、市民の「参加」が社会を変えていくことを訴えてきました。子ども・若者・高齢者政策の推進は、全ての市民が生きやすい世の中になることから、様々な提案を続けています。昨年度は、子どもへの支援、ひきこもり対応、高齢者が安心して外出できるように道にベンチを設置すること等について提案してきました。今後もひき続き、社会的孤立を防ぐための相談体制の充実や子どもたちが自分の権利を守り、生き生きと育ちあうた

市民とともに 提案を続けます

めの政策を提案してまいります。

地球温暖化の影響は、私たちだけでなく地球上に住む動植物などの生態系にも影響を及ぼしています。今後も環境問題に注力し、火力や原子力に頼らない自然エネルギーの活用を訴えてまいります。

2022年は30年前に指定された生産緑地が一斉に解除される年にあたり、大和市でも生産緑地の減少が懸念されます。私たちは身近で安心な野菜を食べ続けたいと願う市民と共に、身近な農業を守るための活動を続けています。未来を



布瀬 恵



山崎佐由紀



国兼 久子

私たちは市民のひとりとして、市民と共に議会で提案を続け、より住みやすい大和市を目指して参ります。
本年もよろしくお願ひいたします。

明るいみらい大和

謹んで新春をお祝い申し上げます。皆様の日頃からのご支援に心より感謝を込め、年頭のご挨拶をさせていただきます。

私どもの会派は、いまだ終息を見る兆しがない新型コロナウイルス感染症の中で、市民の生活を最も身近に知るのが私たち市議会議員であるという自負を抱き、自ら地域や現場のリアルなお声を聞き、調べ、動くことをモットーにしております。行政と緊密に意見交換と連携をとることで、昨年は主に、乳幼児や子ども、教育、スポーツ、防災・減災、地域の課

題など市民に寄り添う現実的な課題解決を多く実現することができました。様々な角度から調査をしっかり行い、根拠のある議決と説明、パフォーマンスではなく現実的な視点からの政策提案を基軸として、引き続き、市民の皆様のために努めてまいります。

震災等の災害への不安、広がる格差社会、少子高齢化、生産能力の低下、近年の日本の国際競争力の低下、国際的に出遅れたデジタル化の推進、厚木基地を持つ本市に影響を及ぼす日本を取り巻く外

安心・安全なまち大和 明るい未来を目指して

交問題等、国の課題が地方自治体に様々な影響を与える中で、新型コロナウイルス感染症の出現による新たな時代を迎えたことにより、これまで踏み切れずにきた「スクラップアンドビルト」実現の可能性が高くなりました。地域の課題を解決していくことが国を変えていくとの想いから、街の賑わいの創出、南北のバランスの良い発展、子どもから高齢者まで誰もが居場所と出番のあるサステナブルな大和市を実現していくため、コロナ禍でもあきらめずに取り組んでまいります。



野内 光枝



町田 零二



古谷田 力

結びに、新成人の皆様にお祝いを申し上げ、すべての皆様にとって幸多い一年であることを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

日本共産党

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナ感染症拡大による医療や保健所がひっ迫、感染者のほとんどは自宅での療養を強いられ、軽症の方でも急変し命を落とした方もおられます。また行動自粛による事業の縮小、中止で職を失うなどの深刻な事態となりました。この様な下で東京オリンピックの開催は、ワクチン接種の遅れとも重なり市民に大きな不安を与えるものでした。

共産党議員団は速やかなワクチン接種と、感染防止のPCR検査の実施を繰り

かえし求めてきました。また小中学生のオリンピック観戦中止を求め実現しました。さらにコロナ禍の下での生活支援と申請しやすい生活保護への改善、高齢者など難聴者への補聴器購入補助の実施を求めてきました。

さらに昨年10月は、森友、加計、桜を見る会等の問題や、安倍・菅政権による新型コロナ対応などに対しての総選挙が、直前に岸田新政権に代わり行われました。

日本共産党は市民連合を仲立ちに立憲

政治を変えよう命と

暮らし、温暖化防止へ

民主党などと共に、命を最優先とする政治への転換をはじめ、脱原発と地球温暖化防止対策や選択的夫婦別姓などのジェンダー問題の解消など20項目の政策目標を掲げて戦い、大和市を含む神奈川13区では共産党候補者を取り下げ、立憲太候補を支援し勝利しました。

野党共闘で掲げた政策は、今年の参議院選挙に引き継がれ実現を目指します。

厚木基地で米軍は昨年の弾道ミサイル迎撃訓練に続けて、半年もの長期に渡り生物化学、核放射能防御訓練を実施し、



堀口 香奈



高久 良美

市民に不安を与えました。

さらに、欠陥機オスプレイの2030年までの点検整備計画を明らかにしました。

緊張する米中関係や北朝鮮問題など、市民の命と財産を守るには、厚木基地の撤去が必要です。

日本共産党議員団に皆様の声を寄せてください、今年もよろしくお願ひします。

虹の会

新年明けましておめでとうございます。現在、大和市は市長のパワハラ疑惑で大きく揺れている。この間の市長の疑惑対応は独裁的と言わざるを得ない。積極的な調査協力を求める議会決議とは逆行する裁判で調査を妨げ、私的な民事訴訟を理由に議会で答弁に応じない場面もある。根拠も示さず「パワハラねつ造問題」と市長を批判した個人を公の場で虚偽の主張をしたと決めつけ、私的な裁判に市の顧問弁護士を起用する。こうした対応が許されれば権力に物言えぬ世の中にな

りかねない。コロナ禍に裁判やってる場合ではない。一刻も早く市政を正常化するよう求めていく。

次に市内小学校で起きた暴力団の保護者が複数の児童トラブルに介入し、逮捕事件にまで発展した問題は児童や保護者に大きな恐怖を与えた。

暴力団排除条例に抵触しかねない対応を行った校長を何ら説明もなく別の学校で校長に据えた教育長や、その教育長を再任させた市長に問題認識や再発防止策を問うも「教育委員会は適切に対応した」

長い物には巻かれない 現場の声を突きつける

と非を認めず具体的な再発防止策も示さない。これでは信頼の再構築もままならない。保護者の不安に寄り添った対応を求めていく。

最後はコロナ対策。コロナ禍が過去最悪の経済危機を発生させている。大和市内でも空き店舗が増え、パン屋ベルベの一斉閉店、飲食をはじめ中小個人企業もシャッターを下ろす店が目立つ。

一方でガソリンなど物価は上昇、貧困相談も明らかに増加し、子どもの虐待死や自殺も過去最悪の人数、電車でナイフ



石田 裕



大波 修二

を振り回す類の事件も複数伝えられており社会が不安定化している。

今、政治に必要なのは徹底した暮らしの底支えだ。過去の経済危機では翌年、自殺者が万単位で増加した。コロナショックはそれを大きく上回る経済危機。平時の感覚で対策を行えば取り返しのつかない事態を招く。有事の経済対策を求めていく。

大和市議会ミニ年鑑 2021

第1回定例会 2月25日～3月23日

令和3年度各会計予算をはじめ、令和2年度一般会計補正予算など議案39件、陳情2件、議員提出議案5件を審議しました。



こどもの城

第1回臨時会 5月7日

副市長の選任の議案や、専決処分の承認についての報告など4件を審議しました。

また、議長、副議長の選挙、各常任委員会委員の選任等を行いました。



前副市長辞職等に関する調査特別委員会

第2回定例会 6月1日～6月25日

大和市終活支援条例など議案13件、陳情3件、委員会提出議案2件、議員提出議案2件を審議しました。



第3回定例会 8月30日～9月27日

令和2年度各会計決算をはじめ、大和市認知症1万人時代条例など議案17件、請願1件、陳情1件、議員提出議案1件を審議しました。



第4回定例会 11月25日～12月21日

令和3年度一般会計補正予算などを審議しました。

第4回定例会の詳しい内容については、次号のやまと市議会だより（2月1日発行予定）でお知らせしますので、ぜひ御覧ください。

政治家の寄附行為は法律で禁じられています

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ること、有権者が政治家に寄附を求めるることは法律で禁止されています。

例えば、次のような行為が寄附に該当します。

- 新年会への寄附や差し入れ
- お年賀・病気見舞い
- 落成式・開店祝いの花輪
- 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ

傍聴してみませんか

市議会は、毎年、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、市長や議員が提出した議案や、市民の方々が提出した請願・陳情書の審議、一般質問などが行われます。

本会議はどなたでも傍聴することができます。また、本会議の模様は、[市議会ホームページ](#)からも生中継・録画映像配信を御覧になれます。スマートフォンやタブレット端末にも対応していますので、ぜひ御利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、傍聴にあたりましては、手洗いや手指の消毒、マスクの着用など咳工チケットの実施等について、御配慮いただきますとともに、傍聴席に関しても、1席分の間隔を空ける取扱いとさせていただいておりますので、御理解、御協力をお願ひいたします。

傍聴の受付は、市役所本庁舎5階の議会事務局で行っています。詳細についてのお問合せは、議会事務局議事係（電話046-260-5503）までお願いいたします。

インターネットで配信中

本会議の様子は市議会ホームページで御覧になれます。

生中継（本会議中）、録画映像のインターネット配信は、市議会ホームページから御利用いただけます。

ぜひ御活用ください。



感染症対策で行政視察中止

市議会では、他の自治体で取り組まれている先進事例について調査・研究する行政視察を行っています。

令和3年度につきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、議会運営委員会及び各常任委員会の行政視察を中止いたしました。

平田純治議員逝去される



故 平田純治議員

市議会議員平田純治氏（74）が、令和3年10月21日に逝去されました。

同氏は、平成19年4月に市議会議員に初当選以来、連続4期にわたり議員を務められ、この間、市議会議長をはじめ、副議長、議会運営委員長など、数々の重職を歴任されました。

市議会では令和3年11月25日の本会議（初日）において、市議会を代表して、所属会派であった自由民主党の井上貢代表が追悼演説を行い、故人の業績をたたえるとともに御冥福をお祈りしました。